

第1回～第3回検討会議の概要（振り返り）

会議名・開催日	議事	主な意見等（概要）
第1回検討会議 (令和4年7月7日)	(1)公園概要・課題について (2)公園を取り巻く状況について (3)意見交換	◆富津公園が抱える課題の確認 <ul style="list-style-type: none"> ● <u>施設の老朽化</u> ：昭和41年の開設から約56年が経過、各施設の老朽化 ● <u>公園のポテンシャルを活かせていない</u> ：海を見渡せる眺望、滞在のための施設、マラソン練習地、歴史遺構、海を活用したアクティビティ等 ● <u>社会情勢の変化への対応</u> ：多様化する観光・レジャー・ライフスタイル等
第2回検討会議 (令和4年10月18日)	【報告事項】 (1)第1回検討会議の整理 (2)各種調査結果の報告 (利用者アンケート結果、民間事業者ヒアリング結果、観光データ等の整理) (3)再整備の方向性 (テーマごとの事例整理) 【審議事項】 (1)富津公園が目指すべき方向性について	◆再整備の主なアイデア・意見 <ul style="list-style-type: none"> ● <u>賑わい</u> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 地元の農産品等を購入できる物販施設 ➢ 来園者が泊まれる宿泊施設 ➢ 休憩・飲食をしながらゆっくり滞在できる空間 ➢ スポーツや海のアクティビティ利用者のための休憩施設 ➢ 温浴施設などの滞在型施設 ➢ マラソン・ランニング利用の道路空間整備 ● <u>眺望</u> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 海・富士山を望む眺望やライトアップ ➢ 海が見えるカフェ・レストラン ➢ ロケ地としての誘導・インスタ映えする空間 ● <u>歴史遺産</u> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 近代遺構をいかした歴史学習、公園内の近代遺構の再活用 ● <u>自然</u> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 自然（保安林等）を感じながらランニング・散歩ができる遊歩道 ➢ 環境と人に優しいウェルネスな公園整備

第1回～第3回検討会議の概要（振り返り）

会議名・開催日	議事	主な意見等（概要）
<p>第3回検討会議 (令和4年12月26日)</p>	<p>【報告事項】 (1)「整備等の基本的な考え方」（素案）について</p> <p>【審議事項】 (1)素案に対する意見交換</p>	<p>◆「整備等基本的な考え方」（素案）に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <u>見事な眺望</u> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 富士山が見える絶好のロケーションの活用 ➢ 海辺の活用（ビーチウォーク等） ● <u>賑わい創出・アクティビティ</u> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域の特色を生かした賑わい施設（飲食・物販等） ➢ トレンドを踏まえた宿泊施設（グランピング、海辺の温浴施設等） ➢ スポーツ系の施設・ショップ（スポーツ教室等） ➢ 海辺の賑わい（潮干狩り、バーベキュー、キャンプ場等） ● <u>豊かな自然・憩い</u> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 美しい景観の形成（保安林と公園の共存） ➢ 軍事遺構、歴史学習・観光教育（ビジターセンター等） ➢ マラソンコースの回遊性（遊歩道・散策路との区分け等） ● <u>その他全般</u> <ul style="list-style-type: none"> ➢ ヘルスやウェルネスをテーマとした自然環境の全体活用 ➢ 富津岬の先端でのマリンスポーツ <ul style="list-style-type: none"> ※公園内にどこまで含むかは考慮が必要 ➢ 漁協など地元団体との連携強化 ➢ 地元団体など多様な関係者が参加する協議会（プラットフォーム）

委員意見を踏まえた「富津公園再整備に向けた基本方針（案）」の修正箇所（1/2）

第2章 公園再整備の基本方針

【1. 公園再整備の視点】

富津公園の利用の活性化を図るためには、レジャーの多様化が進んだ現代のニーズに沿う、新たな集客施設等の導入をはじめとする再整備が必要となっている。都心から近い立地であることや、海に近接した特殊な形状をした公園であることを最大限に活かすことで、県民に親しまれ、県外からも誘客可能な魅力ある公園となるよう整備等を進めていく。

また、これらの方針の実現のためには、民間活力による新たな都市公園の整備手法などを活用し、公園の再整備や活性化を推進する。

【2. 基本方針のテーマ】

海と緑の魅力を感じながら
自然豊かなアクティビティと賑わい空間を創出

修正

【3. 公園再整備の方向性】

見事な眺望

- 眺望を楽しみながら、時間を忘れることが出来るような特徴的な空間を創出
- 景観を楽しみつつ、飲食などを併いながら休憩できる空間の創出

賑わい創出・アクティビティ

- プール、キャンプ場など、一年を通してスポーツやアクティビティを楽しめる空間を創出
- 見事な眺望や豊かな自然を活かした、人が集うためのサービス提供に必要な富津公園の拠点となる空間を創出
- 公園の賑わい創出のためには地元との連携が必要

豊かな自然・憩い

- 海と緑に囲まれた豊かな自然によって癒しを感じられるウェルネス※1な空間を創出
- 保安林内をゆっくり歩けるような散策路や海沿いを走れるランニングコースとして利用できる空間を創出
- 公園に点在する近代遺構の活用

※1ウェルネスとは、従来の「健康」とは区別する目的で米国の公衆衛生医が提唱した、感情・身体・社会・精神・知性・職業・環境にも配慮した、より総合的・広範な視点でとらえた健康観

【委員意見（概要）】

- 「海と森の魅力」とあるが、「海と緑」くらいに抑えた表現が良いのではないか。
- 「海と森の魅力」の「森」は主に保安林を指していると思われるが、「海と緑の魅力」という表現の方が望ましいと思われる。

【委員意見（概要）】

- 「ウェルネス」という表現は一般的なものなのか。違う表現もしくは注釈を入れた方が良いと思われる。

【対応】

- 「ウェルネス」に注釈を入れて対応した。

委員意見を踏まえた「富津公園再整備に向けた基本方針（案）」の修正箇所（2/2）

第3章 公園再整備の方向性

2. 賑わい創出・アクティビティ

(1) 一年を通してスポーツやアクティビティを楽しめる空間を創出

富津公園が有する海・緑を活かしたスポーツ施設など、一年を通して海や自然が感じられるアクティビティ体験が出来る施設を配置することで、公園の活用を図る。



(2) 富津公園の拠点となる施設の配置

見事な眺望や豊かな自然を活かした、人が集うためのサービス提供に必要な施設を配置することで、公園の魅力や利便性の向上を図る。



(3) 地域との連携

地域との連携・協力を強化し、賑わい創出に向けて推進していく。



【委員意見（概要）】

- 3方を海に囲まれた富津公園にとって、通年型のアクティビティとしてマリンスポーツ（ジェットスキーや釣り等）は欠かせないコンテンツといえる。安全面やルール作りなどでハードルが高いことは理解できるが、「安全面などに配慮しながらマリンスポーツ客の誘致を検討する」くらいの控え目な表現でも記載できないか。



【対応】

- 「2. 賑わい創出・アクティビティ」で「一年を通してスポーツやアクティビティを楽しめる空間を創出」という記述に集約した。

【委員意見（概要）】

- 掲載されている写真について、写真とおりに整備する印象を持たれると思うため、（イメージ）という表現をどこかに入れた方が良いと思われる。



【対応】

- イメージであることを表現するために、写真の説明文を削除した。

■ 主な意見の概要

分類	委員意見（概要）
活用方法	<ul style="list-style-type: none"> • <u>海辺空間、森林空間</u>をいかに活用するかで、当公園の付加価値も高まる。
	<ul style="list-style-type: none"> • <u>歴史遺構の活用</u>（AR、アニメーション、スマホアプリ使ったオリエンテーリング）
施設整備	<ul style="list-style-type: none"> • <u>強いインパクトのある施設の整備</u>を希望。
	<ul style="list-style-type: none"> • <u>車による周遊との棲み分け（公園内のゾーニング）</u>が重要。
その他 全般	<ul style="list-style-type: none"> • <u>地元（漁組）や利用者が安全かつ快適に利用できるような内容</u>（「安全で快適なルール決めが必要」等）を入れたほうがよいのではないか。
	<ul style="list-style-type: none"> • <u>「展望施設を整備」</u>とは、既存の展望塔を活かすのか、既存の展望施設とは別に整備するのか。
	<ul style="list-style-type: none"> • <u>「施設の老朽化」</u>の内容は、「再整備の基本方針」や「再整備の方向性（案）」に盛り込まれているのか。

パブリックコメント意見の概要

■ パブリックコメントの概要


期間	2023年2月14日(火) ～ 2023年3月8日(水)
提出方法	電子メール、郵送、ファックス
回答数	5名

■ パブリックコメント意見の概要

分類	パブリックコメントでいただいた御意見（概要）
施設整備	<ul style="list-style-type: none"> • <u>ドッグラン施設</u>の設置、運営
	<ul style="list-style-type: none"> • <u>マリンスポーツ</u>の出来る場所
	<ul style="list-style-type: none"> • <u>コテージや食事の出来る場所、道の駅</u> 等
	<ul style="list-style-type: none"> • <u>夜まで食事の出来る所</u> • <u>駐車場</u>がもう少し大きい方が良い • 富津公園から富津岬までの<u>イルミネーション</u> • 自然を感じつつ、<u>現代風のサービス</u>が受けられる公園施設 • <u>ジェットスキー（水上バイク）</u>の出来るリゾート
	<ul style="list-style-type: none"> • <u>混雑時における駐車場の利用状況等</u>を勘案した検討
	<ul style="list-style-type: none"> • <u>防犯及び安全性を考慮した整備</u>の考慮

パブリックコメント意見の概要

分類	パブリックコメントでいただいた御意見（概要）
活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>ゾーニングの検討</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車の進入・駐車を認めるゾーン ・ 徒歩やサイクリング、超小型モビリティでの移動のみとするゾーン
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富津岬の駐車場エリアを<u>海辺のひとときを楽しめる店舗エリア</u>に用途変更
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富津公園が<u>アクティビティ文化の発信地</u>となるような再整備
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富津公園が<u>マリンアクティビティ、ビーチアクティビティ、ネイチャーアクティビティ、ストリートスポーツの拠点・発信地</u>となるような再整備
	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>新たな人を集めることができる施設の整備</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ キッチンカーの出店常設スペース ・ 手作りアート作品の販売 ・ 手作り工作品、アクセサリーの販売 等 ・ <u>健康づくりアクティビティのメッカとして発信していく</u>
交通 インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>バスターミナル・タクシー停留所等</u>の検討
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富津公園内や富津公園近隣への移動手段の整備
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富津岬や公園内を循環する移動手段の検討
公園の 管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>駐車料金を徴収し、公園管理等の運営管理費に充てる等</u>の検討

分類	パブリックコメントでいただいた御意見（概要）
<p>関係法令・規制</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針(案)の中に、規制条件等が含まれていない。 ②は過去には何か建築物・工作物があったのか。  <ul style="list-style-type: none"> ①・②・③エリアは第2種特別地域と同等の建築物・工作物の建築は要件さえ整えれば可能か。 ②は、平面駐車場やキャンプサイトとしての活用はできるのか。
	<p>【アイデアの提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> 『アクティビティと自然を満喫できる拠点：日本のベニスビーチ：富津シーサイドスポーツパーク』 <ul style="list-style-type: none"> 施設老朽化について、<u>今後の利活用等の方向性や再整備計画に含む必要がある。</u>